

メッセージ題「教会の門は開かれている」 <先週の講壇より>

「私はこの岩の上に私の教会を建てよう。陰府の門もこれに打ち勝つことはない。私はあなたに天の国の鍵を授ける。」マタイ16:18, 19【共同訳2018】

日本漢字能力検定協会が発表した2022年を表す漢字は「戦」でした。ウクライナとロシアの戦争、また日本では円安と物価高の戦い、コロナとの戦いもまだまだ続いています。確かにサッカーワールドカップでの善戦という明るいニュースもありましたが、それが薄れてしまうほどに暗い話題が多い年だったと言えるでしょう。

聖書が語っているメッセージは、それとはまったく逆のことです。恐れや不安や滅びの力は、イエス・キリストに打ち勝つことは出来ません。そのメッセージが語られる場所、それが教会です。そこには平安があり、喜びがあり、愛と恵みがあり、平和の祈りが満ちています。

コロナ禍になり、オンラインでの礼拝を配信する教会が多くなりました。私たちの教会も、教会堂とオンラインのライブ配信とのハイブリット方式をもって、まことの神様を礼拝しています。まだまだ厳しい戦いの只中にあるお互いですが、教会堂あるいはオンラインという様々な形で教会の門を大きく開き、福音を発信する教会でありたいと願われています。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2023年1月8日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ29:11

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

